

## 第4回中野市保育所運営審議会会議録（要旨）

○ 日 時 平成19年8月24日（金） 14：20（視察後）～15：45まで

○ 場 所 庁舎31号会議室

○ 出席した者

・出席した委員

宮寄三雄委員 高相淳子委員 外谷良弘委員 渡邊由美子委員 柴本貞夫委員

高田幸江委員 石澤さとみ委員 久保賢一委員

・事務局として出席した者

子ども部長 高野澄江 保育課長 塚田栄一 子ども課長 臼井今朝徳

保育課課長補佐兼施設係長 花岡隆志 保育課保育係長 土屋龍昭

同課施設係主査 丸山 晃

○ 欠席した者

・欠席した委員 なし

・子ども部長が各委員の出席に対し礼を述べ、改めて審議会を開会した。会長にあいさつ及び議事進行を依頼した。

・会長が前回の会議経過及び今日の会議の進め方に触れながらあいさつをした。

協議事項

(1) 第3回会議の会議録案について

・会長が、修正箇所などについて各委員の発言を求めたが、発言がなく、案のとおり了承された。

(2) 視察に伴う意見交換について

◎ 委 員 視察をしたみよし保育園、西町保育園は古く、また小さいと感じたが、園児数をみなみ保育園と比較すると、どのくらいの違いがあるのか。

◎ 保育課長補佐 前回会議に配布した整備計画（案）の9ページであるが、市内11園が古い順に並んでおり、建築年度及び定員が記されている。また入所児童数の比較については、本日提示した資料の中で、視察した3園の平成19年4月1日現在の入所児童数が確認できる。また園児数の推移については、前回配布した資料1で平成11年度からの平均入所児童数の推移を確認いただける。

◎ 委 員 建築年度に10年くらい差があるが、みなみ保育園の廊下が傾いていることが気になった。またグラウンドの水はけが悪く感じられたわけであるが、みなみ保

育園を現地でどのように改築していくかについて教えてもらいたい。

- ◎ 保育課長補佐 今の段階ではそういった点について園児保護者の方々もいろいろな意見を持っておられると思うし、指摘のグラウンドの水はけの点や駐車場の問題などについても、いろいろな意見があると思うが、そういった意見も加味しながら、園舎を新しく建て替えた場合、どの位置に建てるのが一番良いのかであるとか、そういう点はこれからの議論の中で一番良い方法、利用者にとっての良い形を考えていきたいが、今の段階ではその件については具体的でない。
- ◎ 委員 先日、みなみ保育園児の保護者の中で、整備の対象になっていることについて話をしたら皆、知らなかったのであるが。
- ◎ 保育課長 前回会議で整備計画（案）を示したわけであるが、市の姿勢としてこの審議会に最初に示すことが大前提ということの中で、その前に他に計画案を説明した経過はない。計画は市でつくるという前提の元に、この審議会にまず始めに提案し、その後は、前回会議当日、報道機関も入っていたことから次週の金曜日には地元紙に取り上げられ報道はされているが、後は議会の方に説明したところである。また今後の予定については、保護者会等を通じて園児保護者の方にも説明をしていきたいと考えている。
- ◎ 委員 前回会議を欠席したため、はっきりしないところもあるが、今日視察をした中で、とにかく、みよし保育園、西町保育園は本当に老朽化しており、今の状態では大変であることと、駐車場が狭く、これからの時代の中で対応しないだろうということは、よくわかった。みなみ保育園も遊戯室の壁の傷みは早急に修繕しないと、子どもはよく壁に触るので、とげなどが刺さりやすく、それは別問題としても、ただ思ったのは建設予定地の広さというのは、広くて羨ましく、いろいろなサービスが行き届いたものにしてもらえるのだろうと思うが、保育園を大規模化して1箇所にまとめてしまうのが良いことなのかということ、非常に疑問に感じた。かつてよく「ポストの数ほど保育所を」と言って、どこからでも歩いて通えるくらいの保育所といったが、今は車の時代になったため、それはある程度緩和されたとしても、例えば学童保育や児童クラブでも大規模な施設は見直す方針を厚生労働省も文部科学省も出している。実際は40人程度がよいといっているのだけれども、70人程度ということで新しい方針として出していることも事実である。というのは何か災害があったり、パニックが起きた時に掌握できるかということや保護者と連絡がとれるのかどうか、また保護者に直に来てもらえるかどうか、大規模化すればするほど、また子どもが小さいほど、そういうことを考えなければいけないだろうと思うわけである。であるから、施設の充実した保育園は必要であるし、つくってもらいたい、小規模でもよいから街の中にあっても良いのではないかという思いもあるというのが、正直な感想である。是非、地域の利用する方やいろいろな人の意見を聞いたうえで考えなければいけないと思う。ただ施設の充実やサービスの充実

一本やりだけでいってしまうと、いわゆる0歳児から来入児までの本当に子供たちの成長に必要な、やはり親たちもやむなく預けて勤めには行くけれども、すごく気にかかるし、ああいった大規模化するだけでよいのかどうか本当に疑問に思う。

- ◎ 委員 新しく建てる予定の場所の周りは農地であるが、よくわからないのであるが、あの場所は市の市街化調整区域に該当するのか。
- ◎ 保育課長 無指定である。
- ◎ 委員 ということは、将来的にはあの場所に住宅が建つ可能性もあるのか。
- ◎ 保育課長 中野市には市街化調整区域はない。規制がかかるものは農業振興地域の農用地域で、いわゆる色地と白地というものがあるが、予定地は白地であるので、建物を建てることのできる場所である。周囲の農用地区域がどのようになっているかわからないが、西条地域の南側に住宅地が延びてきていることは確かである。
- ◎ 委員 あれだけの広い土地であるので、将来的にアパートやショッピングセンターなどが建たないわけではないというようなことは、今はわからないか。
- ◎ 保育課長 わからない。
- ◎ 委員 北部の倭地区などで統合した際に、苦情などは寄せられているか。
- ◎ 保育課長 市の北部にあるたかやしろ保育園は4保育園を統合したわけであるが、特段、地域等の問題が寄せられていることはない。
- ◎ 委員 たかやしろ保育園は、風の当たりが強いけれども広々としていて良いところである。でも散歩コースがない。
- ◎ 委員 今回の整備計画にはない長丘保育園を利用しているが、たかやしろ保育園とは比較的近距离にある中で、小さな保育園が1つだけ残っているように見えるところもあるが、利用者からすると、どの保育士にも顔を覚えられ、コミュニケーションも取りやすいことから、安心して利用することができている。また、西条グラウンドであるが、給食センターができたことでグラウンド利用者の駐車場が少なくなったわけであるが、さらに保育園ができるとなると、グラウンド用の駐車場についても検討する必要があると思う。
- ◎ 委員 ひよこ保育園に関係していることから、時折ひよこ保育園に行くことがあるが、園では増改築をしており、とても良いと思うところはトイレが保育室に付いていることで、トイレの指導というのは小さい子どもにとって非常に大事で、オムツの頃から排泄に替わるところで保育士の目が良く届くようになっており、そういったところの自立というのは成長の中でとても大切だと思うが、視察した園ではトイレが1箇所にとめられているので、その指導の面で保育士に余計な負担がかかったり、保護者もお互いに必死だろうと思う。また一部には見られたが、調乳室であるとか、離乳食をつくる設備といった衛生面で、やはり新しい充実した園をしっかり見てもらったうえで考えていただきたいと思う。また予定地に入るところの道路が狭いことが気になった。例えば科野児童クラブなどでは祖父母が送迎をしてい

る場合が多く、ちょっとした接触事故も高齢者が多い。であるから、車輛のすれ違いを考えると、今の道路では大変だろうと思う。やはり時間的に規制をかけるなどして利用しやすくする必要があるのではないかと感じた。

- ◎ 委員 私も時折あの場所を通るのであるが、すれ違いが大変であるので、送迎バスが出ずに自分の車で行くとなると、地元の方も通るので大変だと思う。
- ◎ 保育課長 道路については、市の道路担当部署と協議をして、どのように改良すべきか検討をしているが、広い歩道は必要ないとしても、歩道のスペースだけをつくらなければいけないのかと考えている。また西条の集落側に出る部分の隅切りはご協力をいただいて増やしていければと思うが、例えば、今の道路幅を倍にするということまでは必要ないのではと考えている。
- ◎ 会長 他になければ、次の議題に移らせていただく。

(3) 中野市保育所整備計画(案)について

- ◎ 会長 前回会議の中で、何か質問があれば事務局へ連絡することになっていたが、何か寄せられたか。
- ◎ 保育課長 特段、問い合わせはいただかなかった。
- ◎ 会長 それでは、改めて会議の中で質問があればお願いしたい。まず、1ページから3ページまでの基本方針の中で質問があれば発言願いたい。
- ◎ 委員 2ページ後段の方で国も県も市も財政的に厳しくなっていて、地方に対する三位一体の改革による地方交付税が減っている中で、平成16年度から施設整備補助が廃止されて一般財源化されたということであるので、市の一般財源の中で施設を整備することになるわけであるが、その中で一般財源化となると、交付税の算定過程の中で施設整備分について加味されるということであると思うが、それはどのくらい見込まれているのか。
- ◎ 保育課長 当然、施設整備費だけでなく、運営費自体についても補助がなくなっているのであるが、その部分についての交付税算入額についてはわからない。施設整備費についてもポイントなどという形で基準はあり、交付税に算入することは言われているが、実際にその満額が算入されているかどうかはわからない状況である。施設整備の財源は合併特例債と一般財源化された分に対する施設整備事業債というもの、前の補助に係る分として起債という借金の形であるが、それらを予定している。
- ◎ 委員 施設整備事業債は交付税措置されるのか。
- ◎ 保育課長 算入される。
- ◎ 委員 70%程度か。実質的に補助金ということか。
- ◎ 保育課長 そうである。金額的にはかなり圧縮され、補助金に代わるところまでは行かないと思う。その辺りで、実質的な一般財源というものについては、それほど事業費に対するものはないということである。

- ◎ 委員 合併特例債は何年まで使えるのか。
- ◎ 保育課長 平成27年度までである。
- ◎ 委員 平成27年度までに起債を起こせば、70%が交付税算入になるということか。
- ◎ 保育課長 財政力指数があるので70%まではいかないかもしれない。施設整備の関係ではなく、運営費については毎年のことなのであるが、財政担当課に交付税額について確認するのであるが、算入はしているということなのであるが、保育園担当課としては、厳しい中でもいくら措置されているかわかれば特定財源として扱い、予算要求もしやすいわけであるが、今のところ財政担当課でもわからないということである。
- ◎ 委員 3ページに施設整備方針があるが、保育所あり方検討懇話会の提言を受けて示されており、今日現地を見させてもらった中で、各委員からもあったとおり老朽化もしており、一番感じたのは、ほとんど駐車場がないといった中で、少子化を踏まえて、新しく駐車場が確保できるという場所で施設整備されるという、この整備方針に個人的には賛成をしたい。
- ◎ 委員 定員210人ということが、感想も含めて引っかかってしまうのであるが。
- ◎ 保育課長 定員に関しては、保育所あり方検討懇話会の中においても種々発言があり、議論してもらったわけであるが、何人が適正規模なのかということについての結論は出ていない。実は出せなかったわけである。その中で統合する場合であれば、逆にそれよりも大きなものをつくらぬよう、今ある平野保育園の定員を基準に、210人を設定されたという内容である。であるから市とすれば、上限を210人と捉えているところであり、すべて定員を210人としていくというつもりはない。今回の計画の中でも、みなみ保育園については、現状の中で150人の定員で運営できるということで設定しているものである。統合するとなると今のみよし保育園と西町保育園の定員を合せると210人となり、新園については上限の210人とさせてもらったということである。また、それ以外の8園については、たかやしろ保育園は統合しているので別にしても、すべて210人にするということで提言を受けているわけではないので、それぞれ地域事情により、定員については児童数の推移を見る中で設定していきたいと考えているので、ご理解いただきたい。
- ◎ 委員 西町保育園については、旧保健センターの敷地まで拡張すればよいのではないか。みよし保育園はどうするのかという話にはなるが。
- ◎ 保育課長 旧保健センター敷地は借地である。であるから建物を建てるとなるとなかなか難しい面もあり、また、みよし保育園をどうするかということになると、西町保育園の場所で統合とするとしても、敷地周辺がすべて宅地で拡張が難しい。また、現状の園庭も狭く、保育室が現在でも足りないということで、毎年、年令によっては入園を調整し、他の園に移ってもらうといった状況であるため、難しいと考

えている。

- ◎ 会 長 他に発言がなければ、「2 保育所の整備内容」の4、5ページで質問があればお願いします。
- ◎ 委 員 今、西町保育園が、人気があるという話であるが、どういった理由からか。保育士の人気が原因というわけではないと思うが。
- ◎ 保育課長 西町保育園には平野地区から28人入園してきているわけであるが、保護者の勤務地の関係や長時間保育を午後6時30分まで行っているところにも原因があると思う。
- ◎ 保育課長補佐 只今の件については、資料3に示されているので、確認いただきたい。
- ◎ 委 員 平野保育園は210人であるのか。
- ◎ 保育課長補佐 実際に在園する園児は210人よりも少ないが、定員は210人である。
- ◎ 保育課長 みなみ保育園でもそうであるが、現在の園舎で300人近く園児を保育していた時もあり、それがだんだん減少してきて現在の定員になってきている。平野保育園も一時、長嶺団地ができた時に園児数が増えて定員を多くした経過がある。
- ◎ 委 員 みなみ保育園については定員を180人から150人に下げて整備するというので、定員については大変難しいと思うが、最初の基本方針で、0歳から4歳の人口が平成28年までに1,941人に減少すると推計されており、全体人口も2,000人くらい減少する見込みとなっているが、みよし、西町、みなみ保育園で、例えば、みなみ保育園の平成18年度の平均入所者数は151人であるが、その減少率をかけるとどのくらいか。定員を180人から150人に落とすということであるが、今、現実に153人、151人と推移してきている中で、平成28年までいくと、その位減るから定員150人で充分運営できるのではないかという理論構成があるのではないか。
- ◎ 保育課長 資料の中で平均入所児童数を平成11年度から示しているが、みなみ保育園は、その間に最高で153人であり、平成19年4月1日現在では133人園児数となっている。また定員の15%までは定員数を超えて入所できるということもあり、過去の数値を見る中では150人定員で運営できるのではないかという予測を立てているところである。
- ◎ 委 員 減少率が出るのだから、率をかければわかると思うが。
- ◎ 保育課長 減少率は85%弱となり、みなみ保育園では129.68人となる。
- ◎ 委 員 そういう説明をしてもらおうとわかりやすい。現実に153人、151人という実績があっても、児童数が減少し、平成28年までいけば130人になってしまうから、定員を150人とみてあるということか。
- ◎ 保育課長 そうである。ただ、みよし保育園と西町保育園の統合で心配している点

として、新たな保育サービスを始めることにより、園児数がどれだけ増えるか見込めないのが、現在の保育園は小学校と違い、全国区で地域割りがなく、新しく保育園ができたので、その園に入園したいとなれば、入園できることになっているため、そうすると統合する新園の定員210人が少し心配となる。であるから、計画案の中にもあるが、近くなる延徳地区からの入園をできるだけ抑えたいということからも、みなみ保育園の改築を計画しているところである。

- ◎ 委員 近くに新しい保育園ができれば、当然そこに行きたくなると思う。
- ◎ 保育課長 延徳地区に限らず、平野地区でもそうであるが、車の時代であるので、少し早めに自宅を出るようにすれば、いくらでも通園できるので、その辺の心配をしているところである。計画案の1ページにあるが、平成10年度から、それまでは措置ということの中で民生委員にお世話になって入園の手続きを行っていたが、平成10年度以降は、入園について保護者との契約制度となり、契約さえ整えばこの保育園でも行くことができるようになったわけである。視察場所において話しが出た通園バスの関係であるが、そこでは通園バスは考えていないと話したが、全くゼロということではなく、基本的には、たかやしろ保育園を設置したときは、2km以上離れている園児についてはバス通園ということの中で、園を中心に北と南方面へ2台運行しているが、今回の場合は地域性がなくなっていることもあり、どこまでを基準にして運行するのかという話になるとなかなか難しい面もあり、保護者会への説明会を開催する中でご意見を聞きながら検討していきたいと考えている。
- ◎ 会長 他に発言をお願いしたいが。
- ◎ 委員 先ほど委員からもあったが、現在の園は壁などでも味気がなく、施設整備にあたっては、多少金額はかかってしまうかもしれないが、県産材などの使用を検討し、あたたかみのある施設にしてほしい。また設計に当たっては、保育園では参観などいろいろな行事がたくさんあるので、駐車場を整備し、また冷暖房完備というわけにはいかないかもしれないが、断熱材の利用など、機能面を重視した施設整備をお願いしたい。
- ◎ 保育課長 先ほど委員から指摘のあったトイレの関係と只今の委員指摘の件については、4月に白馬村にオープンした新しい保育園を視察したり、先日も塩尻市の新園を見学したところで、トイレについては白馬村の新園も年少、年中、年長と保育室が2部屋ずつあり、それぞれ部屋の間にはトイレがあって、両側の保育室から入ることができる仕様となっており、とても機能的であると感じたところである。また外壁については、白馬村は鉄骨造であるが木で被覆されており、塩尻市のものはヒノキが使われていた。指摘のとおり子どもたちにやさしい保育園をできるだけつくるように進めていきたい。また、保育士の意見を聞く中で効率的な園となるよう考えてまいりたい。
- ◎ 委員 広い敷地につくる場合、可能な限り樹木を植えてもらいたい。この暑い中

で子どもが遊ぶには日陰というのがもの凄く大事で、今、子どもの発達の過程の中で土や砂遊びが重要視されてきており、もう一度見直さなければいけないと言われていて、しかしこの炎天下の中で遊ぶのは大変であるので、是非、日陰のできる木立を設けてもらいたい。

- ◎ 保育課長補佐 今の委員の指摘であるが、昨年度の懇話会の中でも、やはり自然とふれ合えるものが絶対に必要であるという議論があったわけであるが、そういうものを整備するにあたって、やはりある程度の広さが必要になるということも含んでいただければと思う。
- ◎ 会長 他になければ、「3 多様な保育サービスに対応した保育サービスの提供」について、質問等があればお願いしたい。
- ◎ 委員 みなみ保育園に障害を持つ園児が 3 人ほど入園しているということを伺ったが、新園ができた場合は、そこで集中して受け入れるということになるのか。
- ◎ 保育課長 そうではなく、地域性の中で各園において保育士の加配をするなどして対応をしていく。
- ◎ 委員 私もかつて学校に勤めていた時に、ある地域に 3 つの小学校があったけれど障害のある生徒を 1 校に集めてしまったことがあったが、そうすると地域との接点がなくなってしまうわけである。であるから地域子ども会などがあってもその生徒だけは別になってしまうなど、関連性がなく地域で育てることがなくなってしまうわけである。
- ◎ 保育課長 委員指摘のとおりであると考えます。
- ◎ 委員 病児・病後児保育はどうであるか。
- ◎ 保育課長 病児・病後児保育については、新園のみで実施したいと考えている。
- ◎ 会長 他に意見はあるか。なければ次に移らせていただく。「4 民間活力の活用」について質問等があればお願いしたい。なければ「5 専門職としての職員の人材育成」について。ないようであるので、「6 その他」についてお願いします。
- ◎ 委員 予定地の横に給食センターがあるが、そこで保育園の給食をつくることはできないのであるか。
- ◎ 保育課長 よく言われることなのであるが、保育所の整備内容からすると給食設備を設けなければならないという基準になっていることから、つくらざるを得ない。庁内においてもそのような議論になり、制度について調べたところ、給食センターの方については規制がないのであるが、保育所の関係で給食室を設けることになっており、構造改革特区であればということになるが、しかし特区においては市全体として捉えることになり、1 園のみでの実施では難しいということである。また、当然保育園には未満児もおり、離乳食などの対応や、また今非常に多くなっているが、アレルギーによる除去食にも対応しなければならないということで、仮にそうしたとしても 3 歳以上児を対象とすることになるが、給食センターでも 2,500 食で



稼動しており、保育園まで手が回らない状況であるとの事であるため、保育園に給食室を設ける予定である。

- ◎ 委員 災害時に対応できるというのは、どんなところを考えているのか。
- ◎ 保育課長 市内の11保育所については、災害の避難場所にはなっていない。小中学校はなっているが、保育園については指定されていないという状況で、その中で避難場所にするという考え方もあったわけであるが、先日の新潟における地震などにおいても、復旧作業をするにあたり、早く保育所を再開して預かってもらいたいという話も聞こえてきたため、保育所には給食施設などもあり避難するためにも便利な施設だと思うが、そうではなく、早く子どもを預かれるようにしたいという中で、若干の飲み物などを備蓄するなどして、当然、耐震等もしっかりと考えてやらなければいけないが、早急に保育所の業務を再開するという形を考えている。
- ◎ 会長 全体を通じてでも結構であるが、何かあればお願いしたい。
- ◎ 保育課長 整備内容のところの開所年月が入っていないが、この計画策定後に実施計画をつくるという作業があるわけであるが、そこに載せていかなければならないという中で、合併する新園についての開所は平成24年、みなみ保育園については平成27年4月から新園舎に移行していきたいと考えているので、承知いただきたい。
- ◎ 会長 この整備計画（案）については、事務局に確認するが、今後の審議会の中で資料のスケジュールを見ると、引き続き協議することになっているが、今日は特にここまでということによいか。
- ◎ 保育課長 結構である。
- ◎ 会長 それでは、前回、数々の資料が提示されたわけであるが、この中で質問があればお願いしたい。
- ◎ 委員 資料2はカラーでないとわからない。
- ◎ 保育課長 後日、カラーのものを送付させていただく。

その他

第5回会議の開催日程について

- ・会長が、事務局案について提案を求めた。
- ・保育課長補佐が、資料6「中野市保育所運営審議会会議等のスケジュール（案）」について説明し、第5回会議の日程について、10月12日（金）午後1時30分から予定したいと報告した。また、追加の資料として希望があれば用意したい旨説明した。
- ・会長が、次回会議への出席について各委員に依頼した。
- ・子ども部長が、今日の視察及び長時間の審議に対し各委員に礼を述べ、閉会となった。